

産地生産基盤パワーアップ事業の評価結果

I 産地パワーアップ計画(収益性向上タイプ)

(1)生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進 導入・実証の取組の実施内容	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考
					現状				目標				実績									
					年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	生産コスト 単位						
白石町 農業再生協議会	9	白北有明 福富	米 大豆	米麦及び大豆栽培 施設貯蔵施設の再編 統合を行い、施設 運営費を削減する	集出荷コスト の10%以上の削減	R2	115,054千円	米 781.0 ha 3,321.7 t 大豆 270.9	77,742千円	米 785 ha 3,979.5 t 大豆 1,134.0	81,983千円	米 570 ha 2,710.4 t 大豆 985.4		目標年度における共販運営 委員会の収支決算報告書に より検証	88.6%	施設再編により、現状値から 削減できたが、稼働率であり 労務費が増加した。引き続き コスト削減できるよう、指導 していく。	一定の費用削減効果は認めら れたものの、稼働率であり労 務費が増加したことにより目 標を達成できなかった。引き 続きコスト削減に向けて、 関係機関と一体となって指導 を行う。					
吉野ヶ 里町農業 再生協議会	1	吉野ヶ 里	米	米麦大規模乾燥機 施設貯蔵施設の再編 統合を行い、施設 運営費の削減に より産地収益力の 向上を図る。	集出荷コスト の10%以上の削減	R2-R3 2024-25	79,813千円	米 396.2 ha 2,428 t 大豆 1,758	52,311千円	米 430 ha 2,959.6 t 大豆 2,376.1	47,755千円	米 395 ha 1,974 t 大豆 1,821		事業実績及び利用組合の運 営実績で検証する	116.5%	再編によって労務費を削減で き、目標を達成できた。引き 続き運営コスト削減に向け 指導を行う。	現状値は、大雨 等の気象災害が 起きていること から、直近7年 5年の平均で算 出(別紙のと おり)					

(2)販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進 導入・実証の取組の実施内容	地域(果又は野菜を含む) の新規(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考						
					現状				目標				実績					前年度	目標年度													
					年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位		生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位								生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位
伊万里 市農業 再生協議会	1	伊万里 地区 (伊万里 市及び南 部)	施設野菜 (きゅうり)	収益性の高い野菜 産地の形成を推進	総販売額の 10%以上の増加	H29	542,665,295円	11,1484 ha	2,262,513.1 kg	240 円/kg	—	R5	839,018,466円	13.8 ha	3,320,440 kg	261 円/kg	—	R5	745,086,467円	13.46 ha	2,449,892 kg	304 円/kg	—	240 円/kg	304 円/kg	0.789	587,873,222	事業年度(7月~6月)におけるJAの出荷実績および販売 実績をもとに検証 【現状値】 JA伊万里きゅうり部会員 (施設)の平成29年度実績 面積 11,1484ha 出荷量 2,262,513kg 単価 240円/kg 【目標値】 以下の取組を基に設定 面積 13.8ha 出荷量 3,320,440kg 単価 261円/kg 【価格補正地域価格根拠】 JA伊万里施設きゅうり生産出荷実績 H29年度実績/R5年度 単価	15.2%	目標年度(5年度)の実績は、冬~春の日照不 足などの影響でやや目標を達成できなかった。 しかし、毎年度順調に実績が伸びていること のため、産地の活性化が認められる。古い施設 の自動化・省力化も進んでおり、本事業の影響 がみられる。	単価が向上したものの、天候不順により収量 が伸び悩む。目標を達成できなかった。産地 においては古い施設の自動化・省力化が進ん でおり、引き続き関係機関と一体となって目 標達成に向けた取組・指導を行う。	中山間所得 確保計画と 連携
佐城果 樹産地 構造改 善協議会	1	佐城市大 和町	果樹 (かんきつ 類)	・マルチ被覆栽培 による高品質果実 の生産、改種によ る圃場の容積率 の向上、圃場の集約 ・労働力の確保 ・収益性の高い果 樹産地の形成およ び出荷量の増加に 対応した安定集出 荷体制づくりの推 進	販売額の 10%以上の増加	H29	519,355円 /10a	172.9 ha	4,447 t	202 円/kg	—	R5	923,809円/10a	144.0 ha	4,118 t	323 円/kg	—	R5	1,121,659円/10a	150.34 ha	4,596.3 t	366.88 円/kg	—	403.5 円/kg	473.5 円/kg	0.852	955,630円/10a	(検証方法) 生産実績により検証。 (現状値) ①調査年度 172.9ha(ハウスみかん、温州みかん、中晩柑) 平成29年度JAさがほ市場販売実績 [529.9.1~100.8.31]より ②販売4,447.0kg、③単価209.94円/kg、④単価202.0円/kg ⑤10aあたり販売額 ②/(③×10) =519,355円/10a 【目標値】 ①調査年度 144.0ha(ハウスみかん、温州みかん、中晩柑) ②目標出荷量 4,118.310kg ③目標単価 323円/kg (※算出方法は別紙のとおり) ④10aあたり販売額 261.8円 (③×10) =323,000円/10a 【価格補正地域価格根拠】 JAグループ佐賀かんきつ生産出荷実績 H29年度実績/R5年度単価	107.8%	マルチ被覆を徹底したことにより品質が良く 仕上がり、加工率も低かったため、高収益に つながった。圃場集約を行ったことにより、 農家の選別作業が軽減し、収穫作業の効率 化が図られ、選別作業が軽減されたことにより 目標達成できた。	マルチ被覆を徹底したことにより品質が良く 仕上がり、加工率も低かったため、高収益に つながった。圃場集約を行ったことにより、 農家の選別作業が軽減し、収穫作業の効率 化が図られ、選別作業が軽減されたことにより 目標達成できた。	中山間所得 確保計画と 連携
杵島地 区農業 再生協 議会	1	杵島地区	きゅうり	収益性の高い野菜 産地の形成および 出荷量の増加に 対応した安定集出 荷体制づくりの推 進	販売額の 10%以上の増加	H30	745,018,000円	13,1739 ha	2,867,223 kg	260 円/kg	—	R5	1,370,464,483円	18,741 ha	5,088,814 kg	269 円/kg	—	R5	1,367,779,548円	19,306 ha	4,572,563 kg	299 円/kg	—	289 円/kg	299 円/kg	0.967	1,322,642,823円	目標年度(4月~3月)におけるJAの出荷実績お よび販売実績をもとに検証 【価格補正地域価格根拠】 JAさがほエリッラ施設きゅうり生産出荷実績 H30年 産単価/R5年度単価	92.3%	気象に影響され収量が減少したものの、高 単価で推移したため概ね目標に近い実績とな った。	気象に影響され収量が減少したものの、高 単価の上昇や面積の拡大により目標を達成した。 引き続き関係機関と一体となって指導を行 う。	
鹿島市 農業再 生協議 会	3	杵島地区	トマト	収益性の高い野菜 産地の形成および 出荷量の増加に 対応した安定集出 荷体制づくりの推 進	単位面積当 たり販売額 の10%以上の 増加	H30	3,995千円 /10a	3,9564 ha	672,000 kg	235 円/kg	—	R5	5,512千円/10a	5,714 ha	1,201,150 kg	262 円/kg	—	R5	5,310千円/10a	4,592 ha	773,711 kg	315 円/kg	—	306 円/kg	350 円/kg	0.874	4,639千円/10a	【価格補正地域価格根拠】 JAグループ佐賀トマト生産出荷実績 H30年度単 価/R5年度単価	42.4%	大雨により収量となった。目標達成に向 け、産地と一体となって取り組む。	面積及び単価が上昇したものの、大雨の影響 により収量が減少し、目標を達成できな かった。引き続き関係機関と一体となって目 標達成に向けた取組・指導を行う。	中山間地域 所得確保計 画と連携
佐賀市 担い手 育成協 会	1	佐城地区	きゅうり	環境制御型低コスト 施設ハウスを 導入することによ る販売額の増加	総販売額の 10%以上の 増加	R1	936,202,269円	12,4036 ha	3,058,444 kg	306 円/kg	—	R5	1,090,173,279円	14,3055 ha	4,071,748 kg	288 円/kg	—	R5	1,122,923,743円	12,841 ha	3,180,158 kg	353 円/kg	—	331 円/kg	360 円/kg	0.919	1,031,966,920円	目標年度(7月~6月)におけるJAの出荷実績お よび販売実績をもとに検証 【価格補正地域価格根拠】 JAさが佐城きゅうり部生産出荷実績 (出荷量上位 2市場) R元年度単価/R5年度単価	62.1%	単価の影響もあるが、販売額については増加 している。更なる病害虫対策を講じ、個々の 収量増に取り組んでいく。	面積及び単価が上昇したものの、天候不順や 病害虫の影響により収量が減少し、目標を達 成できなかった。引き続き関係機関と一体と なって収量増加に向けた指導を行う。	
白石町 農業再 生協議 会	7	白石町 武雄市 江北町 江北町	野菜 (いちご)	収益性の高い野菜 産地の形成および 出荷量の増加に 対応した安定集出 荷体制づくりの推 進	単位面積当 たり販売額 の10%以上の 増加	R1	5,232,941円/10a	21,108 ha	895,799 kg	1,233 円/kg	—	R5	5,767,300円/10a	22,5729 ha	993,790 kg	1,308 円/kg	—	R5	5,357,533円/10a	18,948 ha	652,533 kg	1,523 円/kg	—	1,336 円/kg	1,515 円/kg	0.882	4,726,421円/10a	目標年度(9月~8月)におけるJAの出荷実績お よび販売実績をもとに検証 【価格補正地域価格根拠】 JAグループ佐賀いちご生産出荷実績 R元年度単 価/R5年度単価	-96.6%	夏場の高温多湿による炭疽病の拡大発生による 定植株の減少、被害の発生。年明け 後の曇天、露雨による株の間隔狭化などにより 安定出荷ができなかった。 JAグループ佐賀いちご生産出荷実績 R元年度単 価/R5年度単価	単価は上昇したものの、天候不順や病害虫の影 響により収量が減少し、目標を達成できな かった。引き続き関係機関と一体となって指 導を行う。	
綾野市 農業再 生協議 会	6	鹿島市 綾野市	野菜苗・ 花苗	良質な苗の安定生 産・供給のニーズ に対応した、野菜 苗の安定生産・供 給体制づくり	総販売額の 10%以上の 増加	R2	315,255千円	2,7682 ha	5,925,214 ポット	53 円/ポット	—	R5	364,237千円	3,1003 ha	6,257,705 ポット	58 円/ポット	—	R5	419,847,010円	3,1003 ha	6,200,429 ポット	68 円/ポット	—	53 円/ポット	68 円/ポット	0.781	327,900千円	令和5年分の所得税確定申告書 【価格補正地域価格根拠】 藤津地区苗生産出荷実績 R2年度単価/R5年度単 価	25.8%	高温等の影響のため、出荷量が伸び悩んだ。よ って、栽培期間の短縮や栽培管理の徹底による 収量増と栽培管理の徹底を行い、出荷量の向上 に努める。	高温等の影響で出荷量が伸び悩み目標達成で きなかった。栽培期間の短縮や栽培管理の徹 底による収量増と栽培管理の徹底により、高 単価を確保し、目標達成に向けた取組・指導 を行う。	中山間所得 確保計画と 連携
白石町 農業再 生協議 会	8	杵島地 区(佐 賀市、 鹿島 市、 綾野 市、 江北 町、 大町 町、 江北 町、 江北 町、 江北 町)	野菜 (ブロッ コリー)	品質保持を図り、 販売額の増加と集 出荷するための集出 荷貯蔵施設(脱水 機)の導入	単位面積当 たり販売額 の10%以上の 増加	R5	128,967円/10a	12,742 ha	88,153.8 kg	186 円/kg	—	R5	172,840円/10a	14,5989 ha	102,346 kg	248 円/kg	—	R5	196,606円/10a	10,89 ha	68,537 kg	312.6 円/kg	—	205 円/kg	306 円/kg	0.670	131,814円/10a	目標年度(9月~8月)におけるJAの出荷実績お よび販売実績をもとに検証 【価格補正地域価格根拠】 JAグループ佐賀ブロッコリー生産出荷実績 R2年 度単価/R5年度単価	7.1%	冬場の気温変動が大きかったことが秀品率の 低下につながり、前年に比べ出荷量が減少し 目標達成できなかった。 今後は、選別作業や栽培管理の徹底など、関 係機関と一体となって目標達成に向けた取組・ 指導を行う。	中山間所得 確保計画と 連携	
武雄市 農業再 生協議 会	2	武雄市	チンゲン サイ	チンゲンサイの集 出荷貯蔵施設の再 編を行うことで、 施設運営コストの 削減、出荷量の増 加を図る。年間作 付回数を増加させ る	単位面積当 たり販売額 の10%以上の 増加	R2	2,601,499円 /10a	3,7552 ha	382,325 kg	255.5 円/kg	—	R5	2,883,724円/10a	3,7552 ha	423,001 kg	256 円/kg	—	R5	2,271,597円/10a	3,379 ha	264,775 kg	290 円/kg	—	255.5 円/kg	290 円/kg	0.881	2,001,994円/10a	目標年度(1月~12月)におけるJAの出荷実績お よび販売実績をもとに検証 【価格補正地域価格根拠】 JAさがちんげん菜部生産出荷実績 R2年度単 価/R5年度単価	-212.4%	猛暑の影響で商品化率が落ちたため、生産規模 拡大や収穫量確保のため取り組み主体が目標を 達成できなかった。引き続き関係機関と一体 となって目標達成に向けた取組・指導を行う。	猛暑の影響で商品化率が落ちたため、生産規模 拡大や収穫量確保のため取り組み主体が目標 を達成できなかった。引き続き関係機関と一 体となって目標達成に向けた取組・指導を行 う。	

都道府県 平均達成 率	48.5%	総合 所見	令和5年度評価の対象地区である、11地区のうち、目標達成している地区は3地区、未達が8地区となっている。また、県全体での平均達成率は48.5%となった。 品目別では、米・麦については達成・未達が各1地区、野菜については達成が1地区、未達が7地区、また果樹については達成が1地区となっている。 未達となった地区の詳細は以下のとおり。 ・米・麦では、施設の再編により費用削減効果が認められたものの、稼働率であり労務費が増加したことにより目標達成できなかった。 ・野菜では、夏の猛暑・大雨、冬~春の天候不順及び病害虫の影響を受けて収量が減少し、目標達成できなかった。 いずれの取組についても、今後目標達成となる関係機関と連携し、人員配置の見直し等による施設運営コストの削減、天候に左右されにくい栽培技術の普及のための支援、産地面積の維持・発展に向けた就業者の確保等を行っていく。
-------------------	-------	----------	---

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等 区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後 (目標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
佐賀県	伊万里市 有田町	伊万里市農業再生協議会	1	施設野菜 (きゅうり)	総販売額の10%以上の増加	542,665,295円 (H29)	839,018,466円	587,873,222円	15.2%	達成状況が15.2%と低調であること、改善策についてはきゅうりの収量向上の観点からも検討すべきであるため、伊万里市農業再生協議会を指導する必要がある。
	鹿島市 嬉野市 江北町 白石町	鹿島市農業再生協議会	3	トマト	単位面積当たり販売額の10%以上の増加	3,995千円/10a (H30)	5,512千円/10a	4,639千円/10a	42.4%	達成状況が42.4%と低調であること、改善策についてはトマトの収量向上の観点からも検討すべきであるため、鹿島市農業再生協議会を指導する必要がある。
	佐賀市 多久市 小城市	佐賀市担い手育成総合支援協議会	1	きゅうり	総販売額の10%以上の増加	936,202,269円 (R1)	1,090,177,279円	1,031,966,920円	62.1%	達成状況が62.1%と低調であること、改善策についてはきゅうりの収量向上の観点からも検討すべきであるため、佐賀市担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。
	白石町 武雄市 大町町 江北町	白石町農業再生協議会	7	野菜 (いちご)	単位面積当たり販売額の10%以上の増加	5,232,961円 /10a (R1)	5,757,303円/10a	4,726,421円/10a	-96.6%	達成状況が-96.6%と低調であること、改善策についてはいちごの収量向上の観点からも検討すべきであるため、白石町農業再生協議会を指導する必要がある。
	鹿島市 嬉野市	嬉野市農業再生協議会	6	野菜苗・花苗	総販売額の10%以上の増加	315,255千円 (R2)	364,237千円	327,900千円	25.8%	達成状況が25.8%と低調であること、改善策については野菜苗の安定生産の観点からも検討すべきであるため、嬉野市農業再生協議会を指導する必要がある。
	武雄市 鹿島市 嬉野市 江北町 大町町 白石町 太良町	白石町農業再生協議会	8	野菜 (ブロッコリー)	単位面積当たり販売額の10%以上の増加	128,567円/10a (R2)	173,863円/10a	131,814円/10a	7.1%	達成状況が7.1%と低調であること、改善策についてはブロッコリーの収量・品質向上の観点からも検討すべきであるため、白石町農業再生協議会を指導する必要がある。
	武雄市	武雄市農業再生協議会	2	チンゲンサイ	単位面積あたりの販売額の10%以上の増加	2,601,499円/10a (R2)	2,883,724円/10a	2,001,994円/10a	-212.4%	達成状況が-212.4%と低調であること、改善策についてはチンゲンサイの収量・品質向上の観点からも検討すべきであるため、武雄市農業再生協議会を指導する必要がある。